

36. 徳島県



36.徳島県

目次

徳島県	36	-	4
1. 東部医療圏	36	-	10
2. 南部医療圏	36	-	16
3. 西部医療圏	36	-	22

本書の見方

・「偏差値」について

各医療圏の人口当たり医療資源量の相対的な位置づけを知るために、偏差値を用いている。偏差値の計算方法は以下の通り。図表では偏差値の高低をセルの色分けで表示。

$$\text{偏差値} = 50 + 10 \times \frac{(\text{A医療圏のBの値}) - (\text{Bの全国平均値})}{(\text{Bの標準偏差})}$$

※全国平均とA医療圏のBという指標の値が一致すると偏差値が50になるよう、あえて344医療圏の平均でなく、全国平均値を用いて計算している。正確に計算した偏差値とはやや異なるが、指標が全国平均値と一致すると偏差値は50となり、その地域の指標が全国平均より高いか低いかを判断しやすい。

偏差値	65以上	55～65	45～55	35～45	35未満
セルの色					

・出所情報

図表1	人口、65歳以上人口、75歳以上人口(2015年)、高齢者世帯	平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
図表2	要介護者数、要介護3以上人数	平成28年度介護保険事業状況報告(年報)
図表5、6	人口の推移	平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月及び日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 を基に各年1月の推計値を算出
	需要の推移	必要なベッド数=(65～74歳人口)×(65～74歳の高齢者施設利用率)+(75～84歳人口)×(75～84歳の高齢者施設利用率)+(85歳以上人口)×(85歳以上の高齢者施設利用率)として算出
図表7	総高齢者施設・住宅定員数	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計
図表7	介護保険施設定員(病床)数	老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計
図表7	高齢者住宅定員数	有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住(特定施設)の合計
図表8	老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの
図表9	有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム	
図表10	サ高住(特定施設)、サ高住(非特定施設)	平成30年6月 国土交通省・厚生労働省サービス付き高齢者向け住宅情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの
図表11	介護職員数(介護施設等)、看護師数(施設)	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの
図表14	在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月
図表15	回復期病床数	平成29年度病床機能報告 平成29年7月
図表15	地域包括ケア病床数	平成30年5月地方厚生局
図表17	訪問介護、訪問看護、通所介護、通所リハ、訪問入浴、短期入所、居宅介護支援	平成30年6月 介護サービス情報公表システムに基づいて株式会社ウェルネスが市区町村別に集計したもの

都道府県別の地図および医療圏別の図表13、図表16の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平30情使、第1666号)

徳島県

■ 人口動態と要介護者の現状

徳島県は、人口755,733人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は233,987人、高齢化率(65歳以上人口割合)は31%と高い。

要介護数(認定者)は34,843人、要介護認定率は15%と高い。うち要介護3以上は17,577人、要介護者に占める割合は50%と高い。

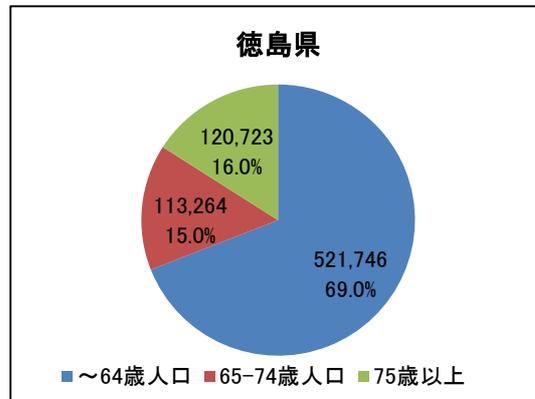
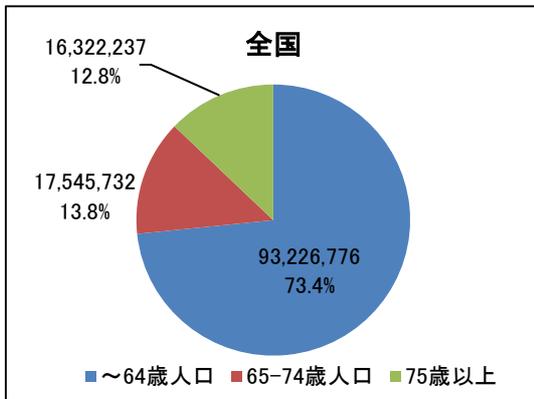
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
徳島県	755,733	233,987	120,723	31%	58	112,104	35%	35%

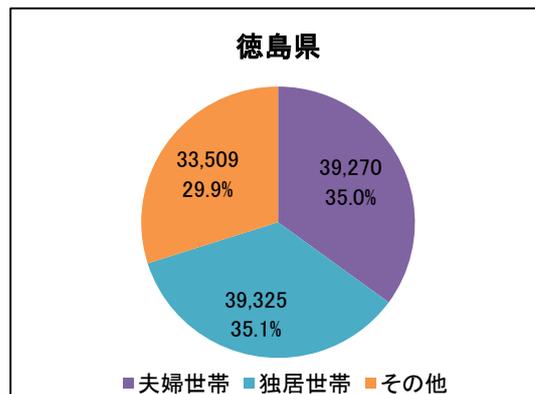
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
徳島県	34,843	15%	58	17,577	50%	57

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



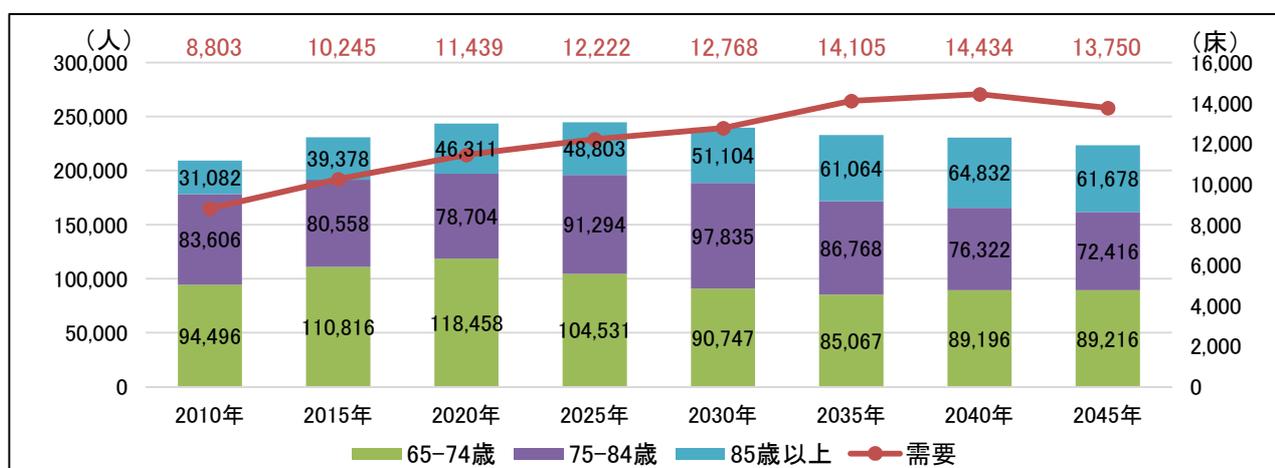
徳島県

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、徳島県の65歳以上人口のピークは2025年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が119,936(80,558+39,378)人であるが、ピーク時の2030年には148,939人まで増加すると推計され、2015年比24%増加する。

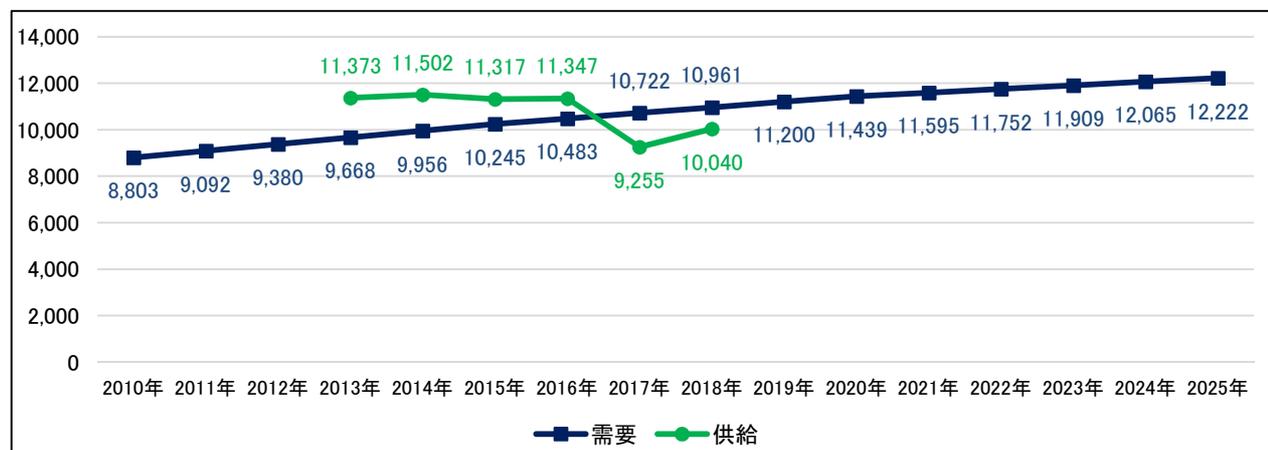
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、徳島県の施設需要のピークは2040年の14,434人であり、2015年の10,245人と比べ、41%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、徳島県の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要9,956人、供給11,502人と「供給>需要(+16%)」である。2018年は需要10,961人、供給10,040人と「供給<需要(-8%)」である。徳島県の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年の余裕のある状況から、2018年の不足ぎみの状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



徳島県

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10,853人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が8,399床(偏差値57)、高齢者住宅等が2,454床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設68、特別養護老人ホーム42、介護療養型医療施設64、有料老人ホーム38、軽費ホーム44、グループホーム61、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値53と全国平均レベルをやや上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値72と全国平均レベルを大きく上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
徳島県	10,853	0.7%	90	49	8,399	0.8%	70	57	2,454	0.5%	20	43

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
徳島県	3,994	1.1%	33	68	3,292	0.6%	27	42	1,113	1.9%	9.2	64

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	軽費ホーム	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	グループホーム	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
徳島県	195	0.1%	1.6	38	30	0.1%	0.2	44	2,229	1.1%	18.5	61

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

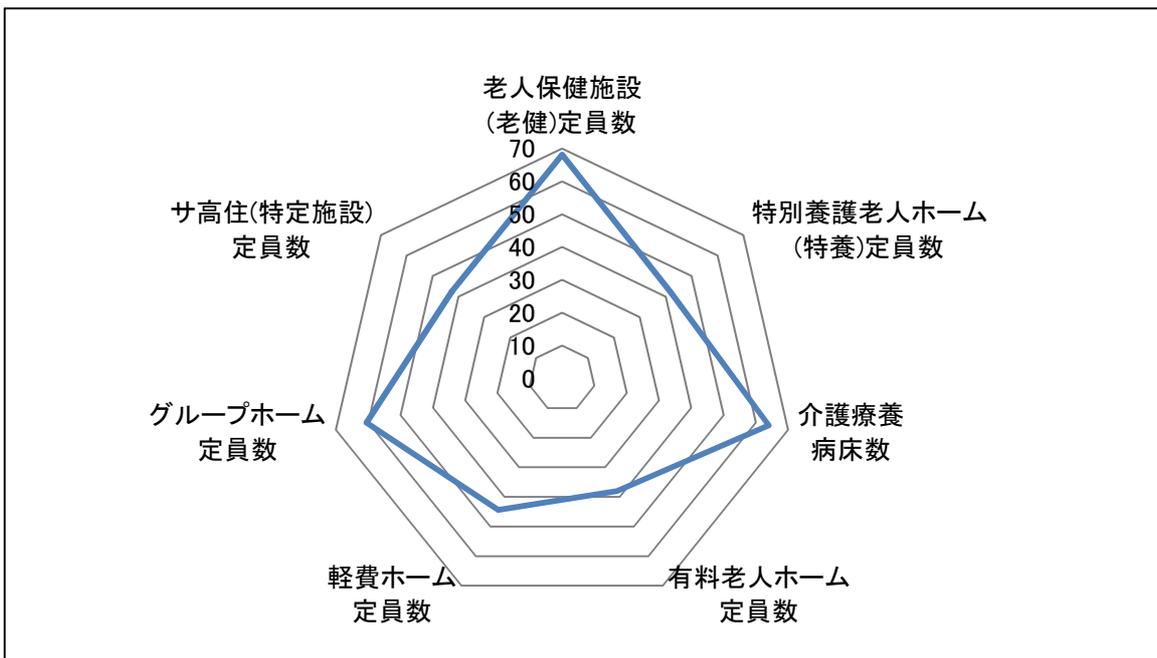
二次医療圏	サ高住(特定施設)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
徳島県	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					2,185	1.0%	18.1	58

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

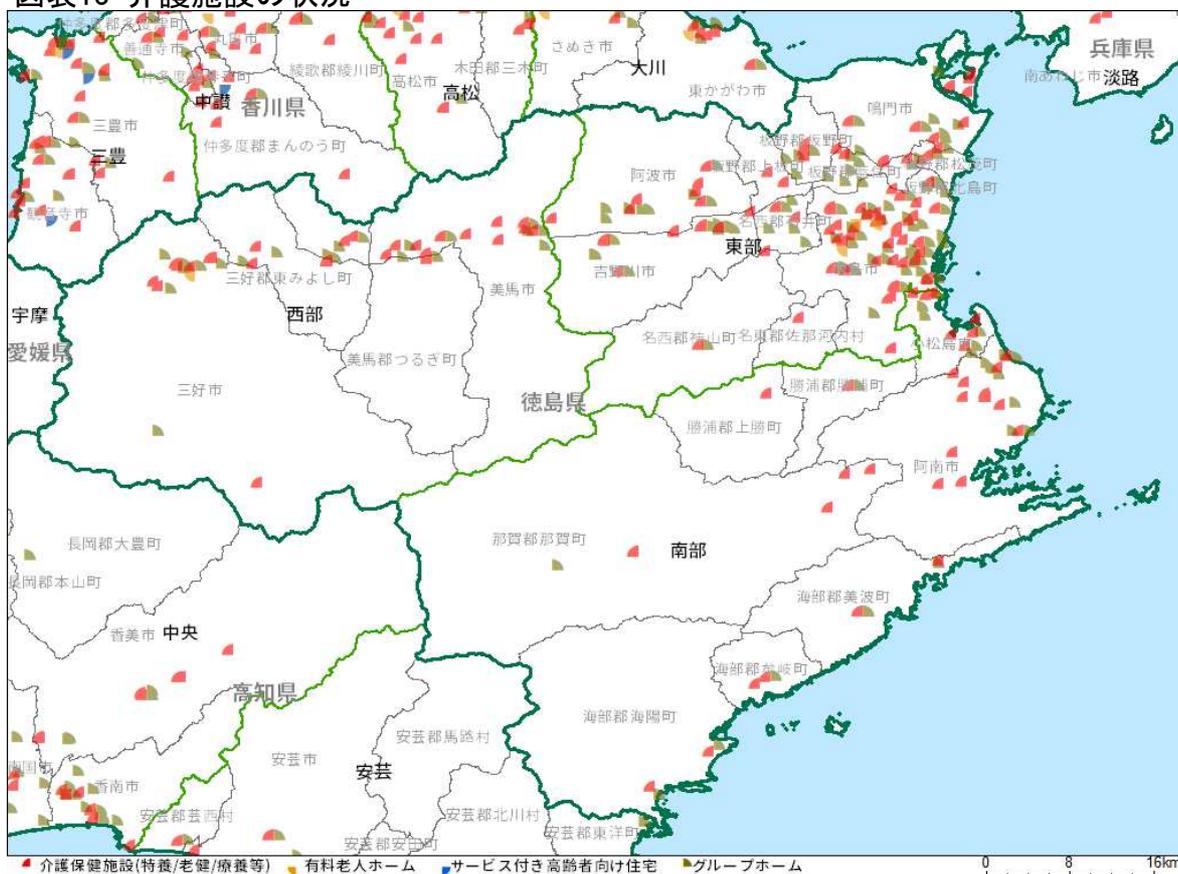
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数(施設)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
徳島県	9,903	0.8%	82	53	1,412	1.2%	11.7	72

徳島県

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



徳島県

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値82と非常に多い。在宅療養支援診療所数は偏差値58と多い。

人口当たり回復期病床は偏差値62と多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値58と多い。

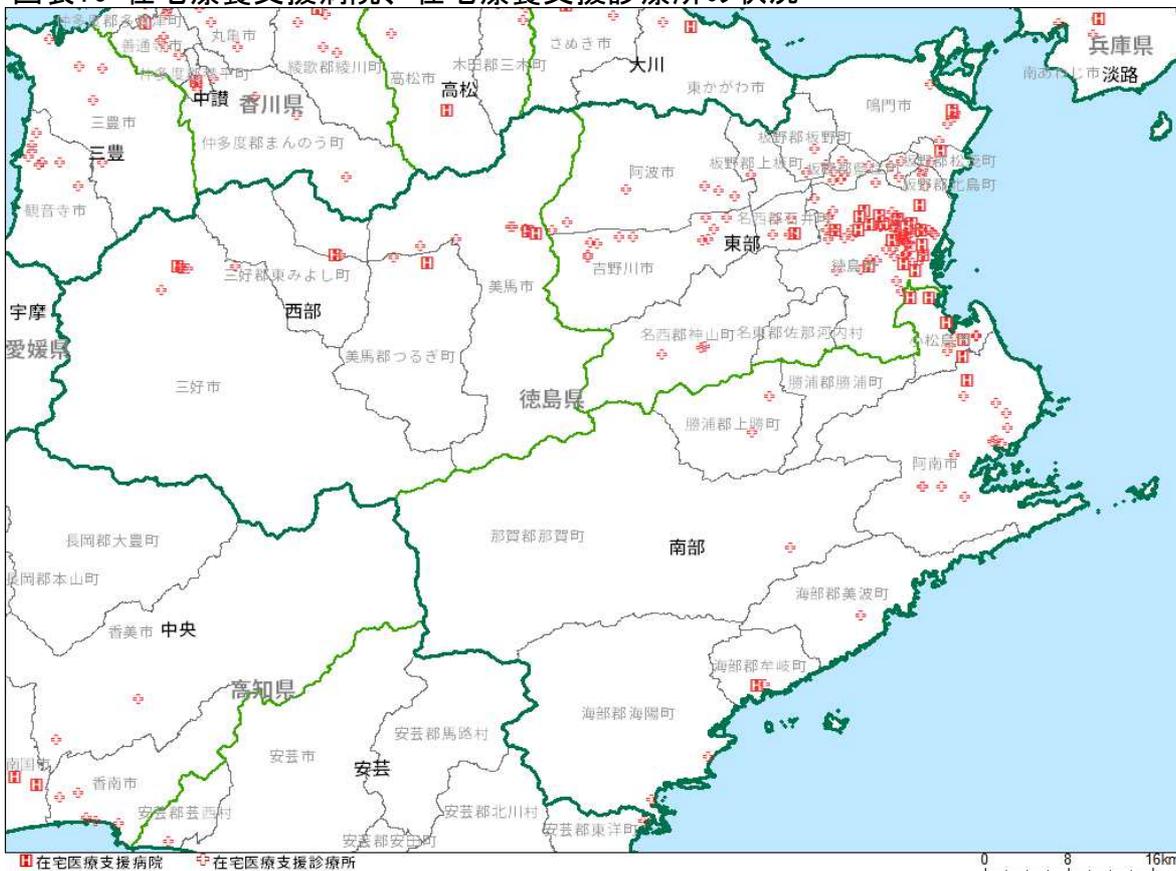
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
徳島県	37	2.7%	0.3	82	146	1.0%	1.2	58

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	全国シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	全国シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
徳島県	892	1.1%	118.0	62	780	1.1%	103.2	58

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



徳島県

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値61と多く、訪問看護が偏差値55とやや多く、通所介護が偏差値48と全国平均レベルである。通所リハが偏差値69と非常に多く、訪問入浴が偏差値52と全国平均レベル、短期入所が偏差値51と全国平均レベル、居宅介護支援が偏差値55とやや多い。訪問介護利用者数は偏差値63と多い。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値56と全国平均レベルを上回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値50と全国平均レベルである。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	訪問看護	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	通所介護	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
徳島県	354	1.1%	2.9	61	95	0.9%	0.8	55	305	0.7%	2.5	48

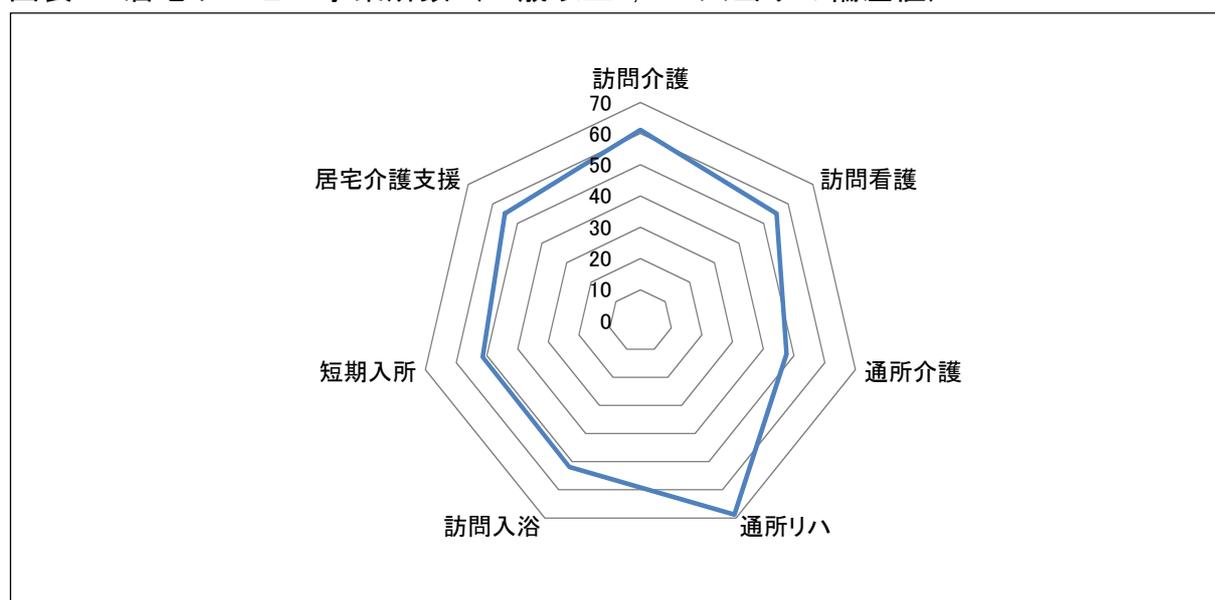
二次医療圏	通所リハ	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	訪問入浴	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	短期入所	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
徳島県	104	1.4%	0.9	69	17	0.9%	0.1	52	82	0.8%	0.7	51

二次医療圏	居宅介護支援	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
徳島県	336	0.8%	2.8	55

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護職員数 (在宅)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数 (訪問)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
徳島県	13,044	1.1%	108.0	63	2,043	0.9%	16.9	56	381	0.7%	3.2	50

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



東部

■ 人口動態と要介護者の現状

東部は、人口527,175人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は152,980人、高齢化率(65歳以上人口割合)は29%とやや高い。

要介護数(認定者)は22,948人、要介護認定率は15%と高い。うち要介護3以上は11,278人、要介護者数に占める割合は49%とやや高い。

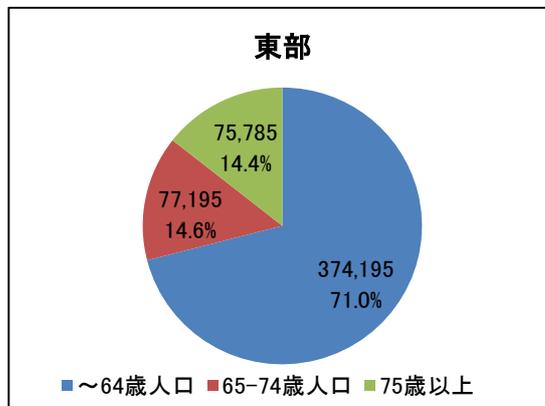
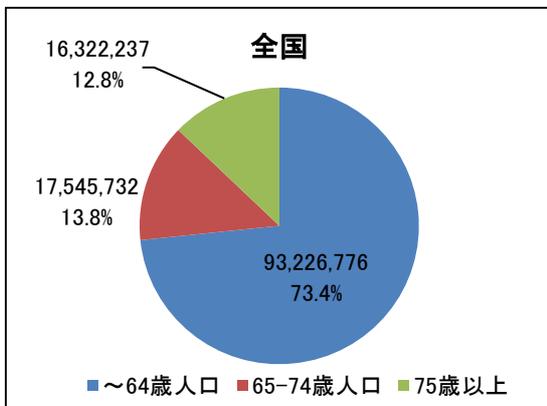
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
東部	527,175	152,980	75,785	29%	55	73,501	35%	35%

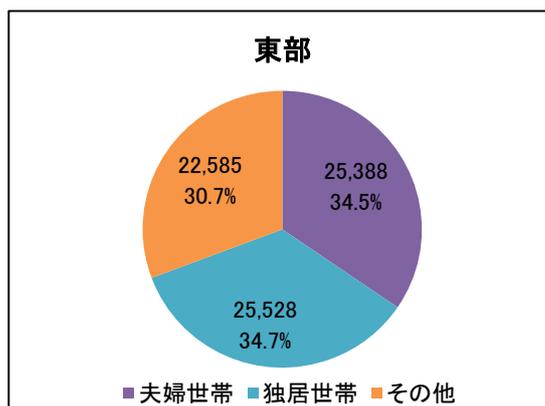
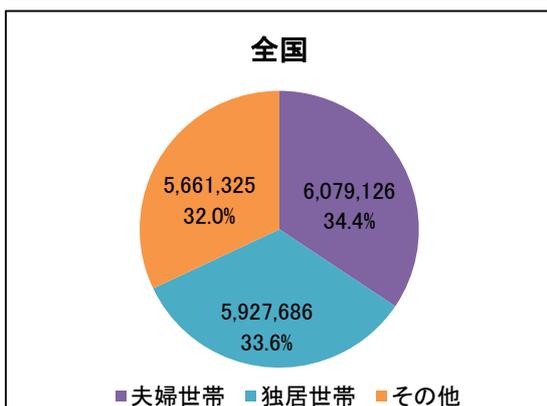
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
東部	22,948	15%	59	11,278	49%	53

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



東部

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、東部の65歳以上人口のピークは2025年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が75,090(50,908+24,182)人であるが、ピーク時の2035年には101,334人まで増加すると推計され、2015年比35%増加する。

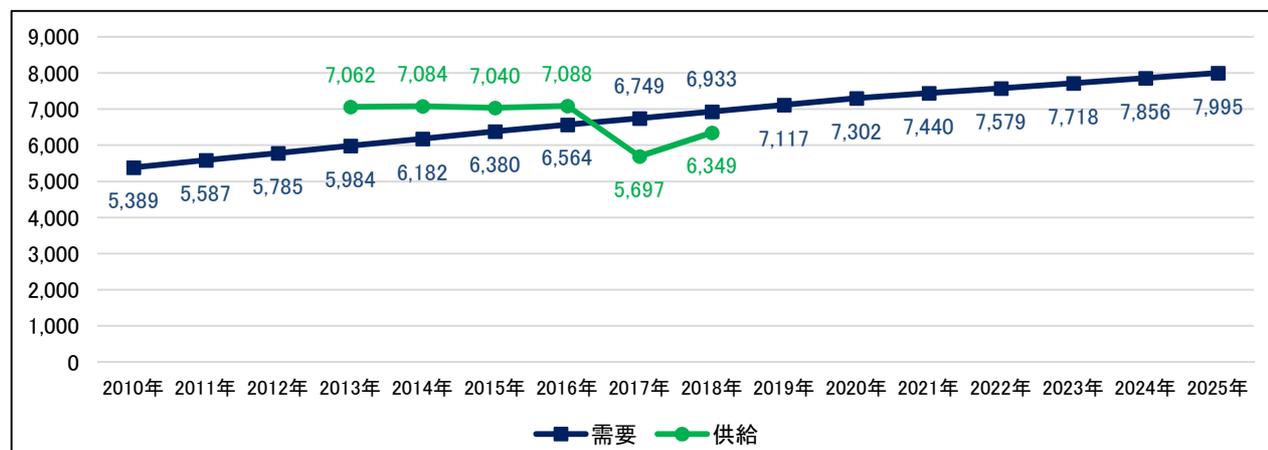
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、東部の施設需要のピークは2040年の10,041人であり、2015年の6,380人と比べ、57%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、東部の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要6,182人、供給7,084人と「供給>需要(+15%)」である。2018年は需要6,933人、供給6,349人と「供給<需要(-8%)」である。東部の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年のやや余裕がある状況から、2018年の不足ぎみの状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



東部

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6,768人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が5,091床(偏差値55)、高齢者住宅等が1,677床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設70、特別養護老人ホーム36、介護療養型医療施設69、有料老人ホーム39、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム63、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値53と全国平均レベルをやや上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値74と全国平均レベルを大きく上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
東部	6,768	62.4%	89	49	5,091	60.6%	67	55	1,677	68.3%	22	44

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
東部	2,595	65.0%	34	70	1,645	50.0%	22	36	851	76.5%	11.2	69

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
東部	177	90.8%	2.3	39	0	0.0%	0	43	1,500	67.3%	19.8	63

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

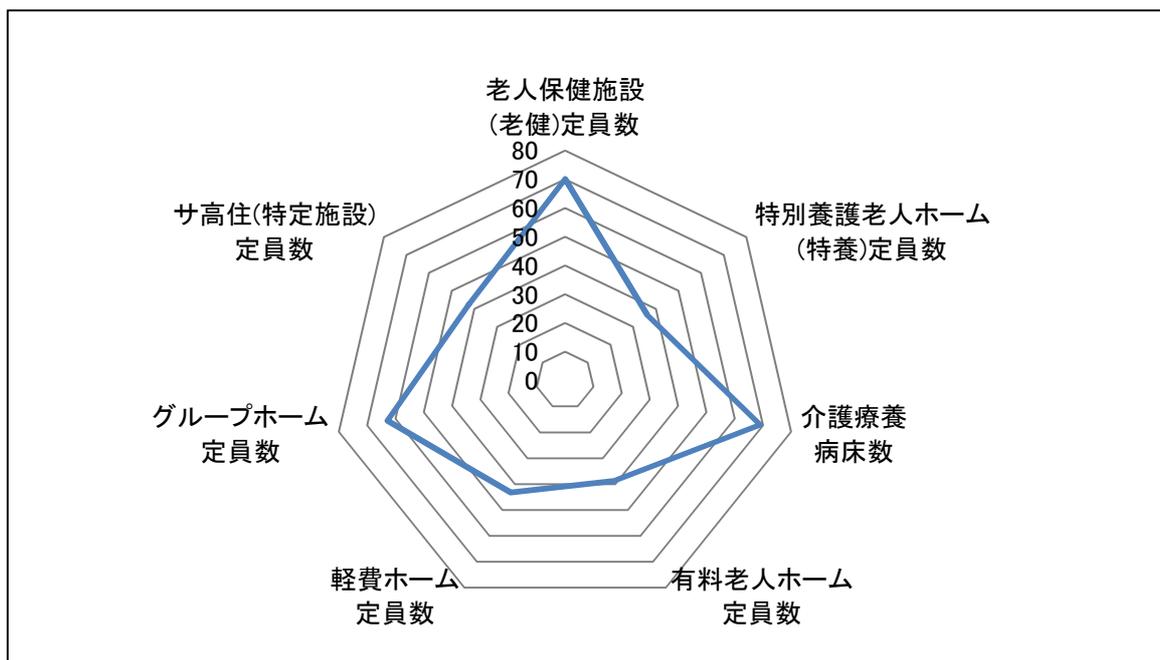
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
東部	0		0	43	209,785		12.9	(6.8)
					1,828	83.7%	24.1	67

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

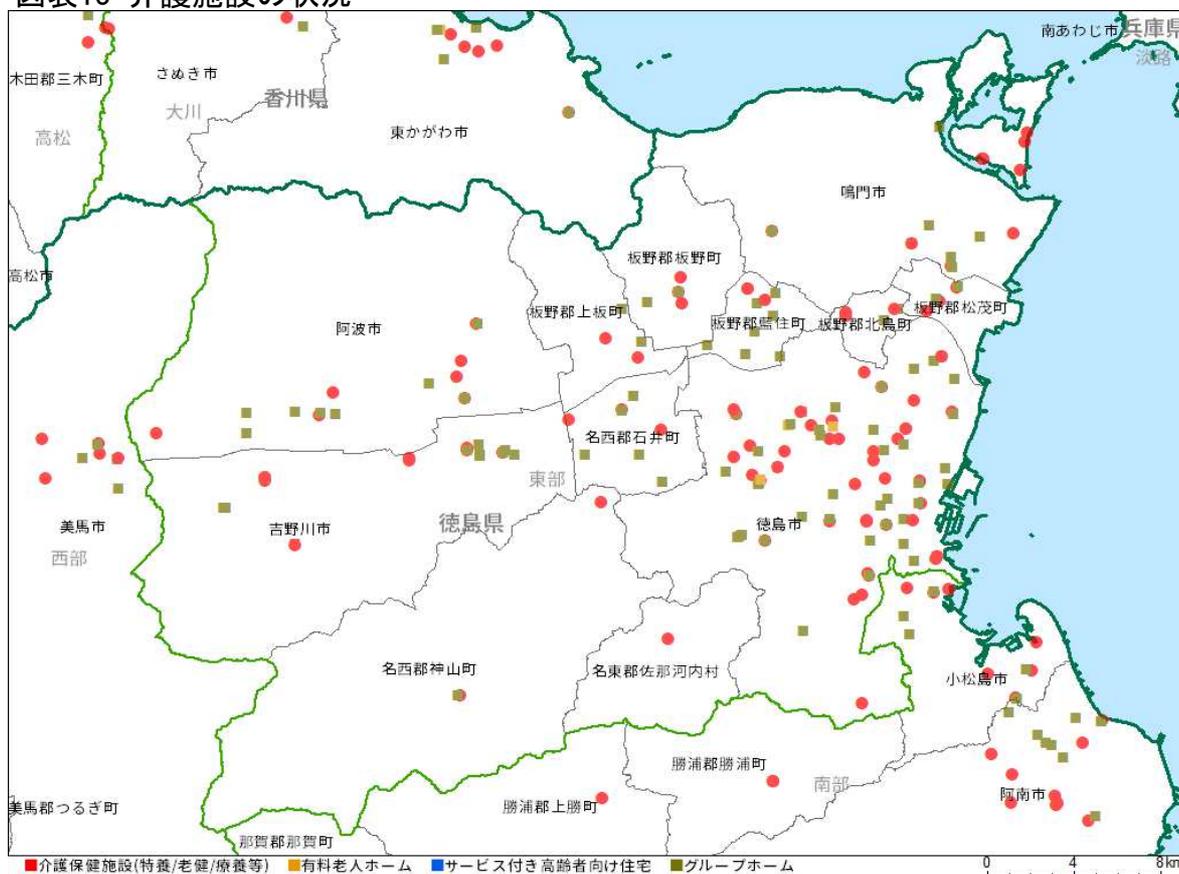
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
東部	6,220	62.8%	82	53	924	65.4%	12.2	74

東部

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



東部

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値85と非常に多い。在宅療養支援診療所数は偏差値63と多い。

人口当たり回復期病床は偏差値66と非常に多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値56と多い。

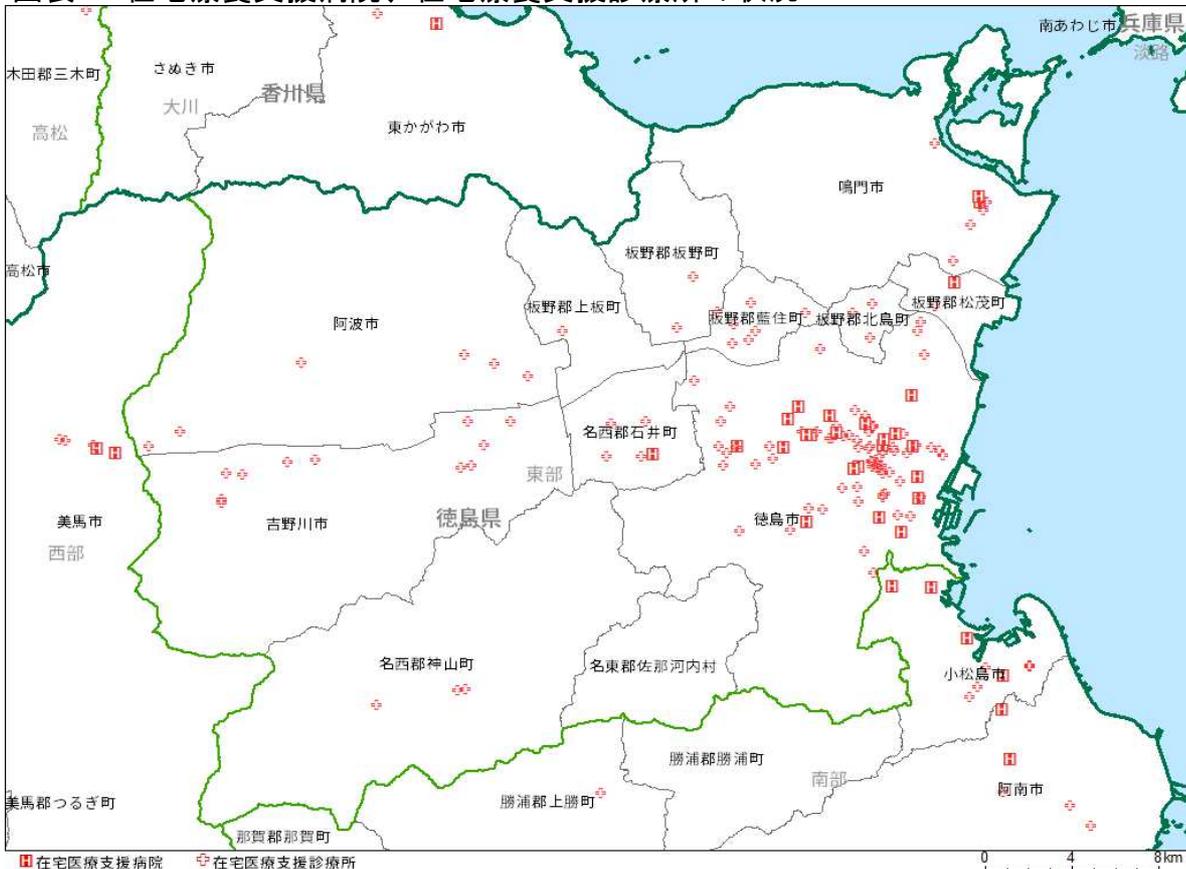
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
東部	25	67.6%	0.3	85	109	74.7%	1.4	63

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
東部	738	82.7%	140.0	66	495	63.5%	93.9	56

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



東部

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値68と非常に多く、訪問看護が偏差値63と多く、通所介護が偏差値51と全国平均レベルである。通所リハが偏差値73と非常に多く、訪問入浴が偏差値51と全国平均レベル、短期入所が偏差値50と全国平均レベル、居宅介護支援が偏差値59と多い。訪問介護利用者数は偏差値71と非常に多い。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値61と全国平均レベルを上回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値56と全国平均レベルを上回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
東部	262	74.0%	3.5	68	72	75.8%	1.0	63	218	71.5%	2.9	51

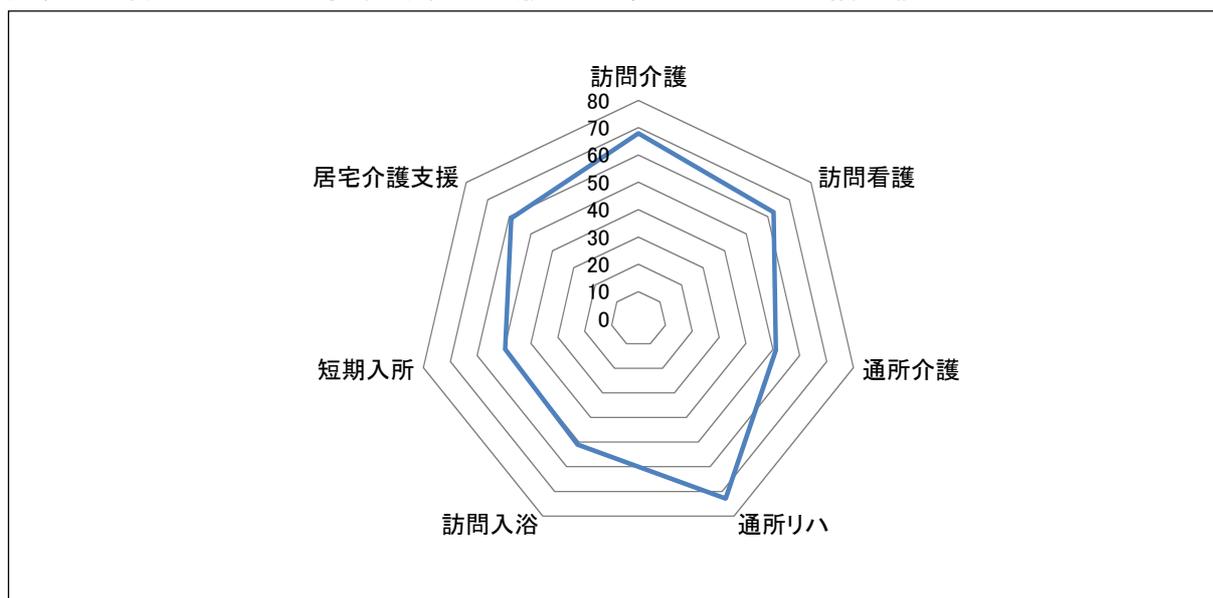
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
東部	72	69.2%	1.0	73	10	58.8%	0.1	51	48	58.5%	0.6	50

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
東部	228	67.9%	3.0	59

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
東部	9,798	75.1%	129.3	71	1,504	73.6%	19.9	61	289	76.0%	3.8	56

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



南部

■ 人口動態と要介護者の現状

南部は、人口147,656人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は50,513人、高齢化率(65歳以上人口割合)は34%と高い。

要介護数(認定者)は7,350人、要介護認定率は15%と高い。うち要介護3以上は3,777人、要介護者数に占める割合は51%と高い。

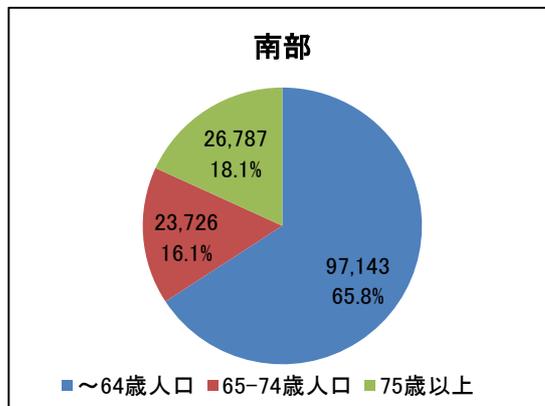
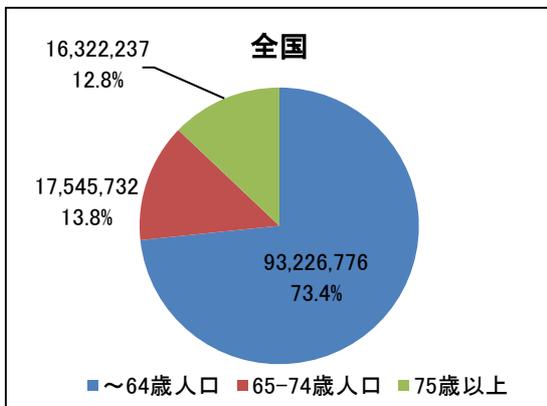
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
南部	147,656	50,513	26,787	34%	65	24,146	37%	34%

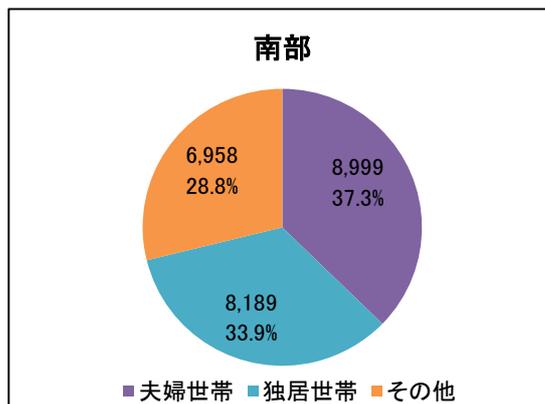
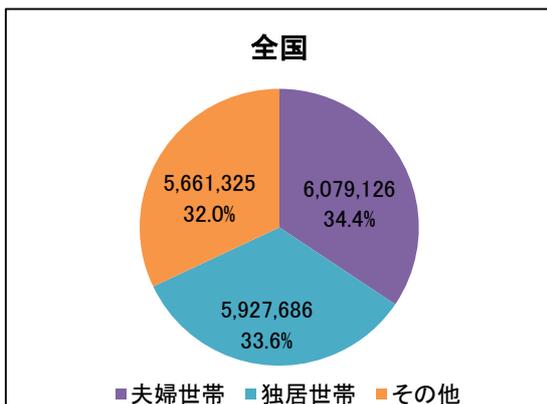
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
南部	7,350	15%	56	3,777	51%	59

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



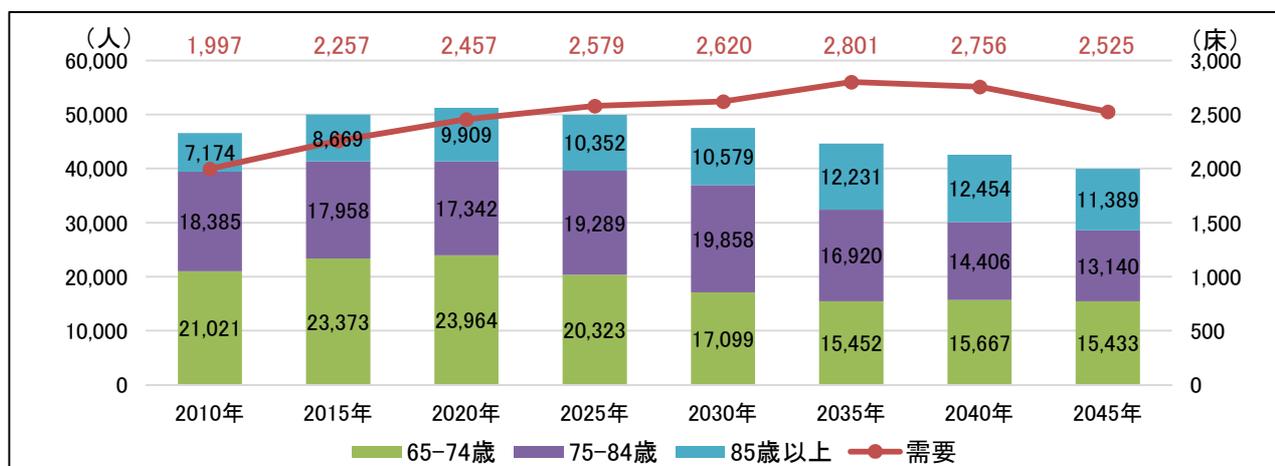
南部

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、南部の65歳以上人口のピークは2020年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が26,627(17,958+8,669)人であるが、ピーク時の2030年には30,437人まで増加すると推計され、2015年比14%増加する。

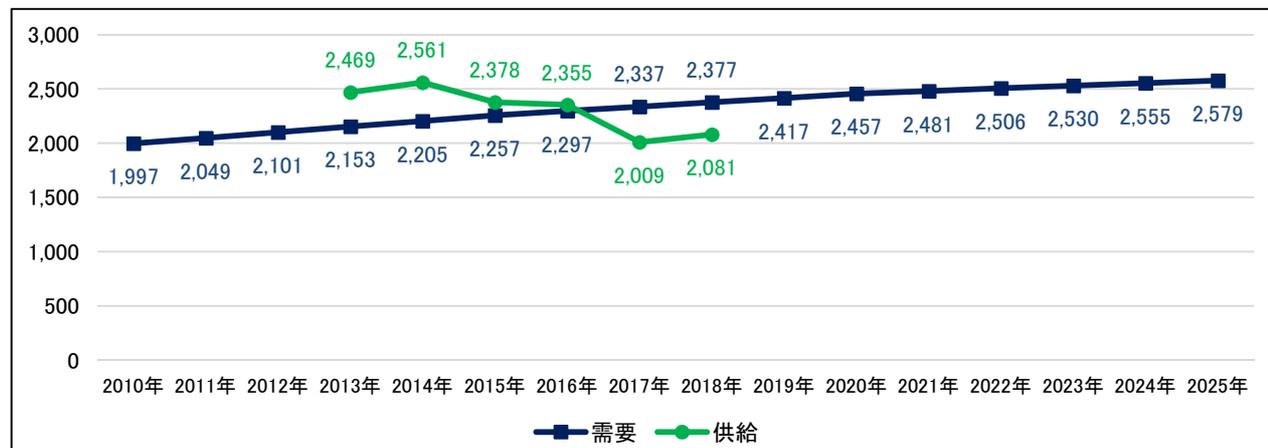
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、南部の施設需要のピークは2035年の2,801人であり、2015年の2,257人と比べ、24%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、南部の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要2,205人、供給2,561人と「供給>需要(+16%)」である。2018年は需要2,377人、供給2,081人と「供給<需要(-12%)」である。南部の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年の余裕のある状況から、2018年の不足ぎみの状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



南部

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,263人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,873床(偏差値57)、高齢者住宅等が390床(偏差値38)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設58、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム49、グループホーム52、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値51と全国平均レベル、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値60と全国平均レベルを上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
南部	2,263	20.9%	84	46	1,873	22.3%	70	57	390	15.9%	15	38

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
南部	708	17.7%	26	57	985	29.9%	37	52	180	16.2%	6.7	58

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
南部	0	0.0%	0	37	30	####	1.1	49	360	16.2%	13.4	52

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

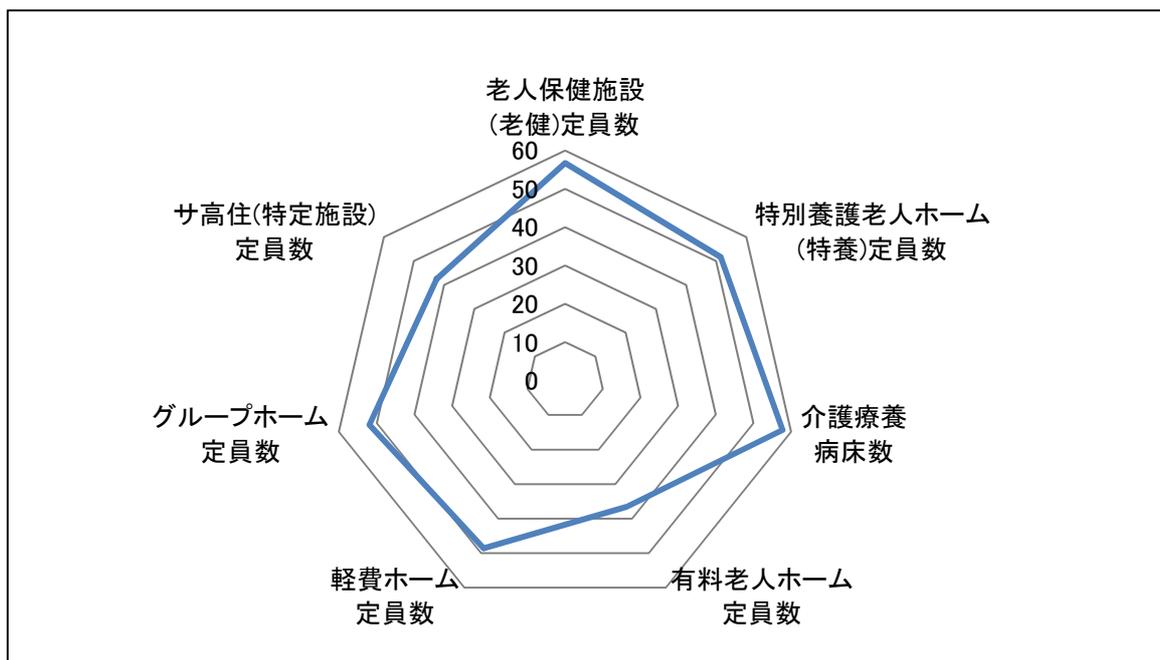
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
南部	0		0	43	209,785		12.9	(6.8)
					195	8.9%	7.3	42

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

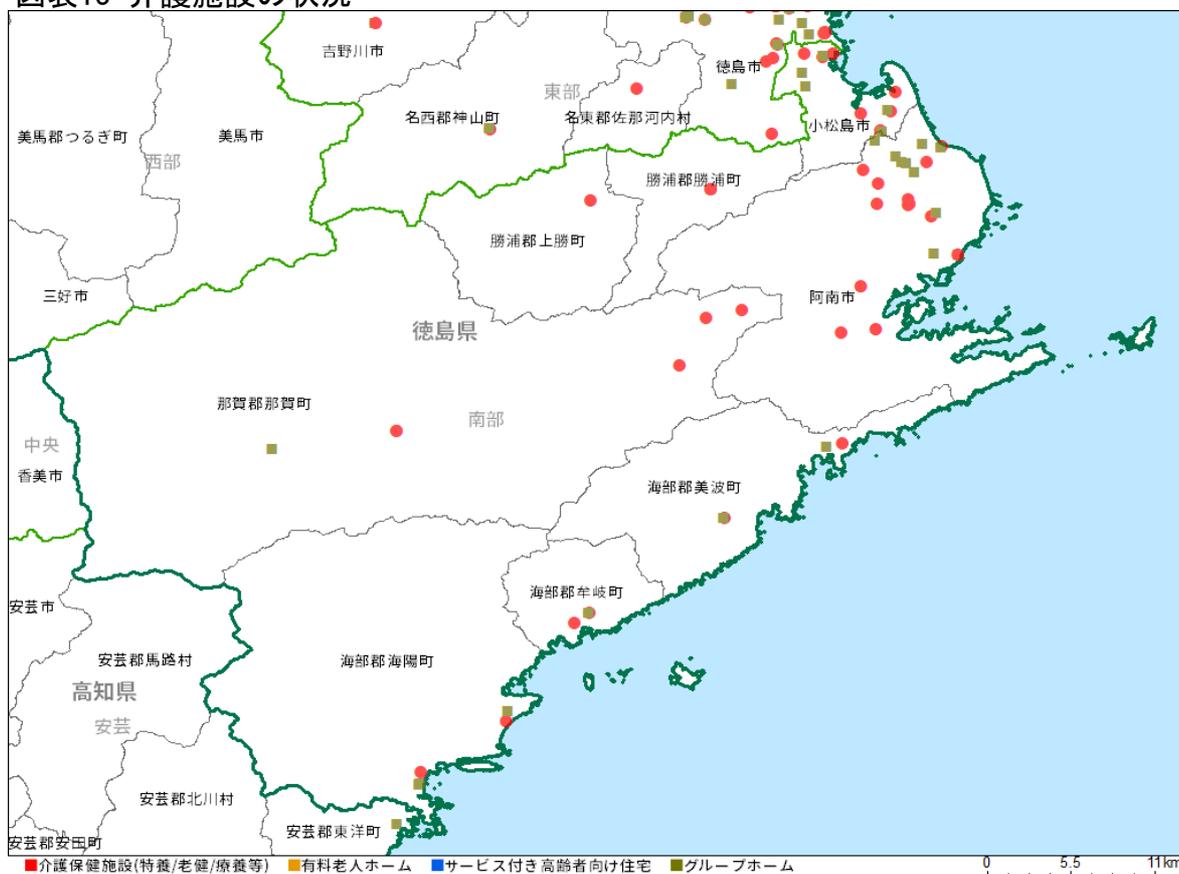
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
南部	2,152	21.7%	80	51	252	17.8%	9.4	60

南部

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



南部

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値75と非常に多い。在宅療養支援診療所数は偏差値51と全国平均レベルである。

人口当たり回復期病床は偏差値56と多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値58と多い。

図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
南部	7	18.9%	0.3	75	24	16.4%	0.9	51

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
南部	132	14.8%	89.4	56	157	20.1%	106.3	58

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



南部

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値50と全国平均レベル、訪問看護が偏差値41と少なく、通所介護が偏差値41と少ない。通所リハが偏差値62と多く、訪問入浴が偏差値53とやや多く、短期入所が偏差値54とやや多く、居宅介護支援が偏差値51と全国平均レベルである。訪問介護利用者数は偏差値48と全国平均レベルである。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値47と全国平均レベルをやや下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値40と全国平均レベルを下回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
南部	56	15.8%	2.1	50	13	13.7%	0.5	41	49	16.1%	1.8	41

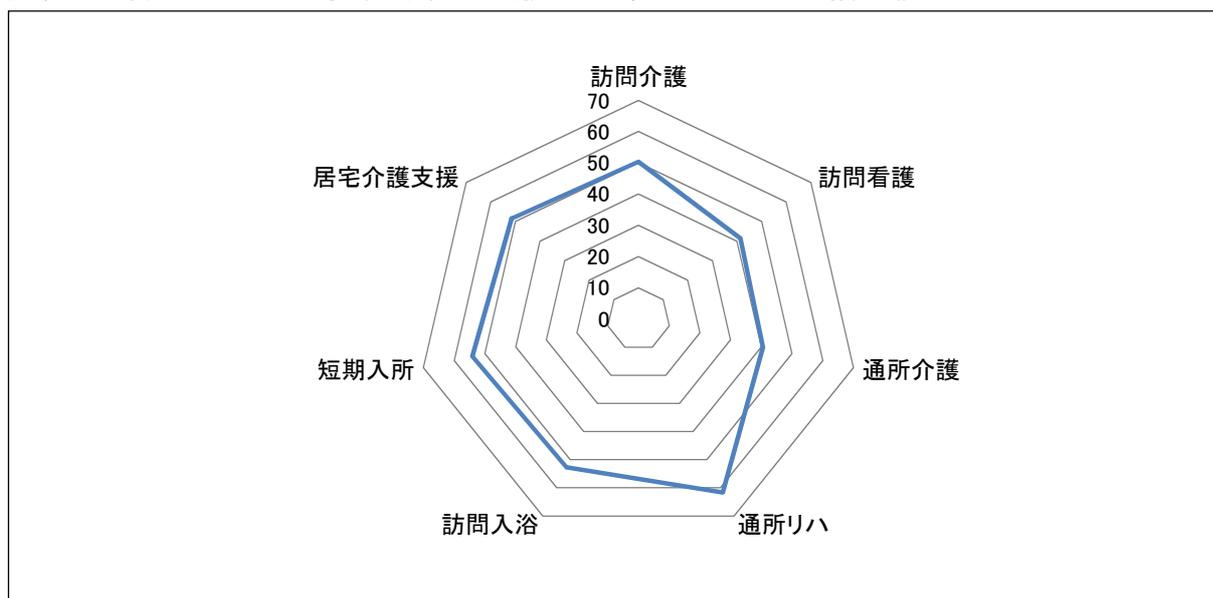
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
南部	19	18.3%	0.7	62	4	23.5%	0.1	53	20	24.4%	0.7	54

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
南部	69	20.5%	2.6	51

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
南部	1,825	14.0%	68.1	48	323	15.8%	12.0	47	55	14.5%	2.1	40

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



西部

■ 人口動態と要介護者の現状

西部は、人口80,902人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は30,494人、高齢化率(65歳以上人口割合)は38%と非常に高い。

要介護数(認定者)は4,545人、要介護認定率は15%と高い。うち要介護3以上は2,522人、要介護者数に占める割合は55%と非常に高い。

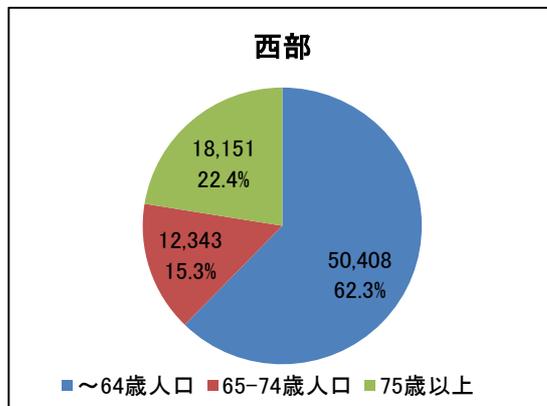
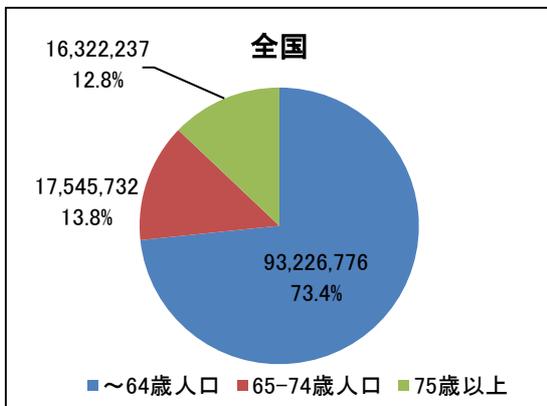
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
西部	80,902	30,494	18,151	38%	72	14,457	34%	39%

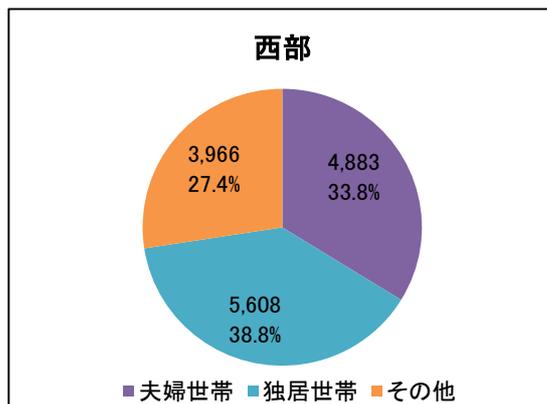
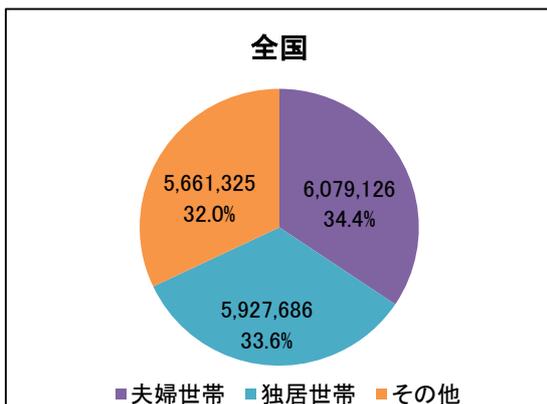
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
西部	4,545	15%	58	2,522	55%	72

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



西部

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、西部の65歳以上人口のピークは2020年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2010年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が18,219(11,692+6,527)人であるが、ピーク時の2010年の18,674人から2%減少した。

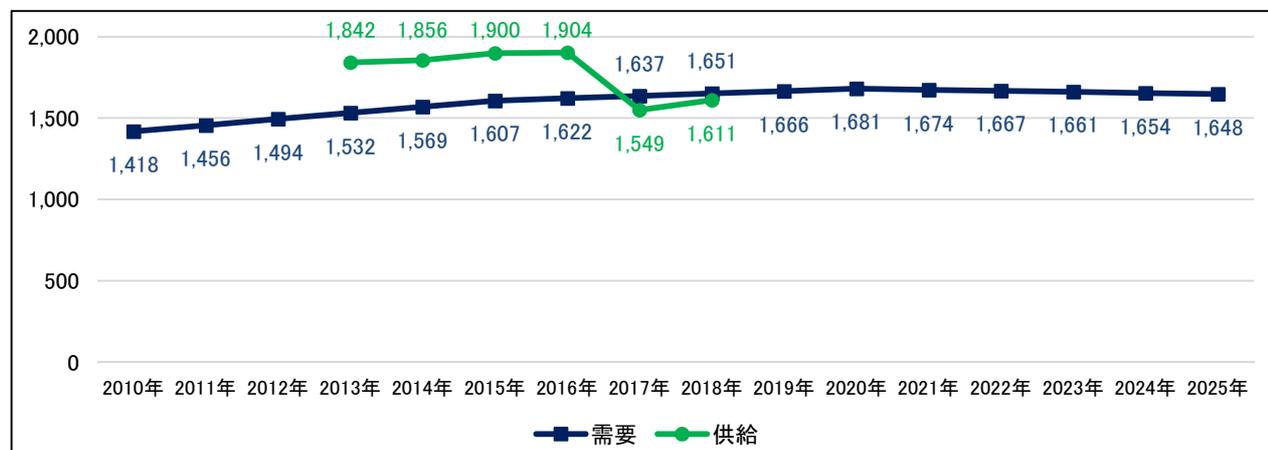
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、西部の施設需要のピークは2020年の1,681人であり、2015年の1,607人と比べ、5%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、西部の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要1,569人、供給1,856人と「供給>需要(+18%)」である。2018年は需要1,651人、供給1,611人と「供給<需要(-2%)」である。西部の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年の余裕のある状況から、2018年の需要と供給が拮抗する状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



西部

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,822人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,435床(偏差値64)、高齢者住宅等が387床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設77、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設52、有料老人ホーム38、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム64、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値55と全国平均レベルをやや上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値79と全国平均レベルを大きく上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
西部	1,822	16.8%	100	56	1,435	17.1%	79	64	387	15.8%	21	43

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
西部	691	17.3%	38	77	662	20.1%	36	51	82	7.4%	4.5	52

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
西部	18	9.2%	1.0	38	0	0.0%	0	43	369	16.6%	20.3	64

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

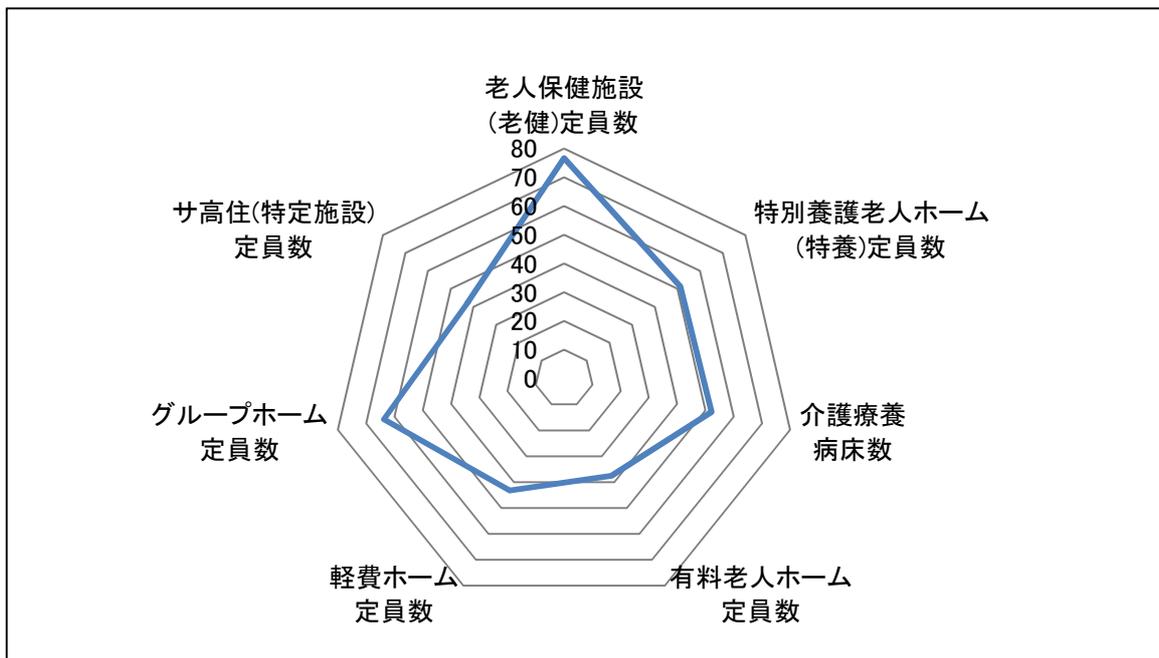
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
西部	0		0	43	209,785		12.9	(6.8)
					162	7.4%	8.9	44

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

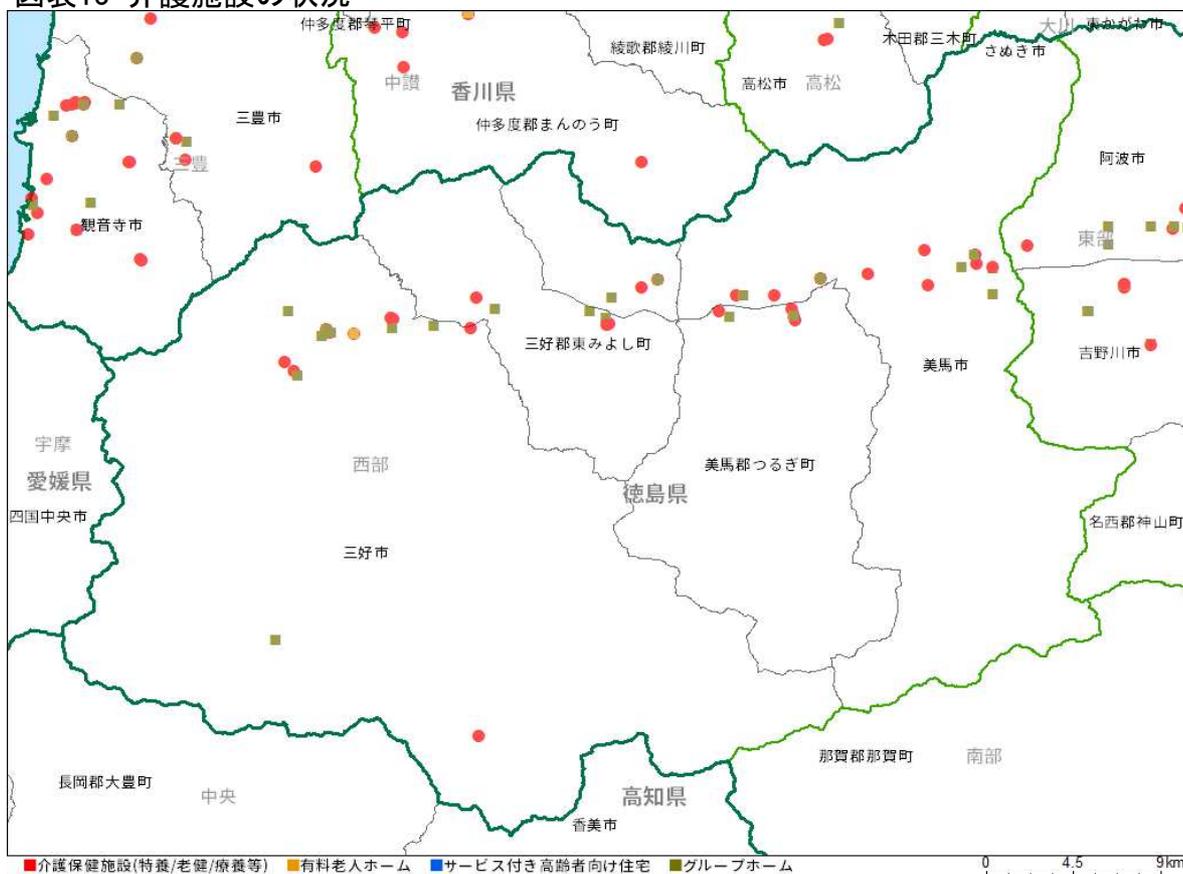
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
西部	1,531	15.5%	84	55	237	16.8%	13.1	79

西部

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



西部

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値77と非常に多い。在宅療養支援診療所数は偏差値46とやや少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値42と少ない。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値67と非常に多い。

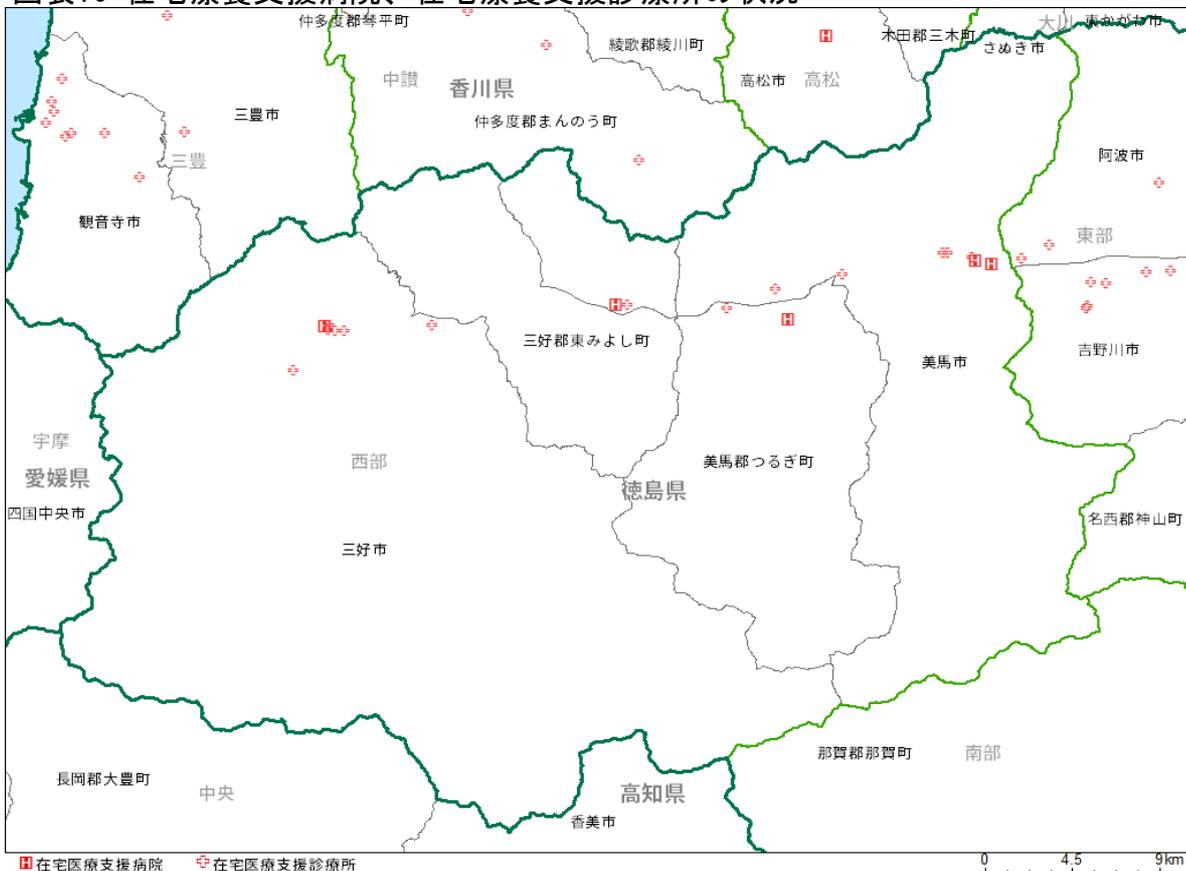
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
西部	5	13.5%	0.3	77	13	8.9%	0.7	46

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
西部	22	2.5%	27.2	42	128	16.4%	158.2	67

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



西部

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値49と全国平均レベル、訪問看護が偏差値44と少なく、通所介護が偏差値43と少ない。通所リハが偏差値62と多く、訪問入浴が偏差値54とやや多く、短期入所が偏差値55とやや多く、居宅介護支援が偏差値44と少ない。訪問介護利用者数は偏差値51と全国平均レベルである。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値47と全国平均レベルをやや下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値39と全国平均レベルを下回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
西部	36	10.2%	2.0	49	10	10.5%	0.6	44	38	12.5%	2.1	43

二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
西部	13	12.5%	0.7	62	3	17.6%	0.2	54	14	17.1%	0.8	55

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
西部	39	11.6%	2.1	44

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
西部	1,421	10.9%	78.3	51	216	10.6%	11.9	47	36	9.5%	2.0	39

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）

